

令和8年度 調布市立調布中学校 学校経営計画（学校長 生野 まゆみ）

学校の教育目標

- ▲一、自ら学び深く考えよう (確かな学力【知】)
- ◆一、身体を鍛えたくましく生きよう (健やかな体【体】)
- 一、礼儀正しく思いやりの心をもとう (豊かな心【徳】)
- 一、勤労を重んじ進んで奉仕しよう (社会奉仕) (下線は本年度の重点目標)

目指す学校像（ビジョン） 例）学校像，教員像，児童・生徒像

調布中を最高の場所に ～互いを認め合い，自分も他者も大切に作る学校～

ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	人権が大切にされる学校は、生徒が安心して学び、教員が自分らしく働き、保護者が心から子どもを託せる場所になる。すべての人の人権が守られる環境をつくることこそ、私たちの教育の土台である。 いじめはどの子にも起こり得る問題である。学校は早期発見・早期対応を徹底し、子どもの安全を最優先に学校全体で取り組むことが求められる。
-------------------------	---

中期的な経営目標

1 ▲確かな学力【知】	思考力・判断力・表現力を発揮して主体的に学ぶ生徒を育む学校
2 ◆健やかな体【体】	心身の健康を大切に、主体的に運動や生活習慣づくりに取り組む生徒を育む学校
3 ●豊かな心【徳】	他者を思いやり、多様性を尊重しながら、よりよく生きようとする心を育む学校
4 ■社会貢献	他者と協働しながらよりよい社会の実現に主体的に関わる生徒を育む学校
5 保護者・地域との連携	保護者と地域と共に子どもを育て、安心と信頼に満ちた開かれた学校

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

1 ▲確かな学力【知】	2 ◆健やかな体【体】	3 ●豊かな心【徳】
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)	(1) 取組目標 (具体的方策)
①個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るために、授業では自分で考えたり、小グループで考えたり、学級全体で考える等、様々な学習形態を毎時間設定する。また、モバイル端末の活用を日常化する。	①1学期に体育祭、3学期にスキー移動教室、球技大会、毎日1分間の運動「ちょこプラ1調布」の取組等、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するような活動を行う。毎月安全指導を実施する。さらに、防煙教育、がん教育、薬物乱用教室、刷掃指導を実施する。	①ふれあい月間(6・11・2月)、いのちと心の教育月間(12月)には、全校朝礼や安全指導で「命の大切さ」について指導する。道徳科で内容項目「生命の尊さ」「思いやり」「友情、信頼」「相互理解、寛容」を設定する。人権朝礼を毎月行事予定に位置付けて実施する。
②授業改善を目的とした校内研修、毎学期授業力自己診断シートを活用した教員の自己分析、年2回、生徒による授業アンケート等を実施し、教員の授業力向上を目指す。	②Q-Uテスト、魅力ある学校づくりアンケート、学校の居心地向上プロジェクトを活用した生徒指導を推進し、心身ともに健やかな生徒の育成を目指す。	②ふれあい月間(6・11・2月)には、服務事故防止研修、毎月人権研修を実施し、支持的風土を醸成する。
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
学校評価アンケートで関連項目の肯定的回答80%以上	学校評価アンケートで関連項目の肯定的回答80%以上	学校評価アンケートで関連項目の肯定的回答80%以上

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

4 ■社会貢献	5 保護者・地域との連携
(1) 取組目標 (具体的方策)	(1)取組目標 (具体的方策)
①小・中・高の12年間を見通したキャリア教育を総合的な学習の時間に位置付け、勤労を重んじる精神を育成する。	①各種便りを定期的に配信し、学校の様子を広く発信する。学校だより(年間20号の発行)、学年だより(隔週発行)、保健だより・給食だより・献立表・図書室だより・カウンセリングルームだより(月1回発行)。
②地域の人材や資源を生かし持続可能な仕組みを構築し、次代の社会を担う生徒の育成を図る。	②コミュニティ・スクールとして学校運営協議会の組織的・持続的な体制を構築する。委員会を定期的に実施する。(年間5回以上)
(2) 成果目標 (数値目標)	(2) 成果目標 (数値目標)
学校評価アンケートで関連項目の肯定的回答80%以上	学校評価アンケートで関連項目の肯定的回答80%以上

人材育成・組織運営

【人材育成】複雑化・多様化する学校を取り巻く課題に対し、適切な対応が組織的にできるよう教員ひとり一人のスキルアップを図る。
個々の教員のキャリアに応じた育成を意図的に行う。

【組織運営】学校が地域と共に連携・協働しながら、一つのチームとして機能するように、学校のリーダーシップ機能や学校の企画・調整機能、事務体制を強化するとともに、学校に関わる全ての職員がチームの一員であるという意識を共有する。